

ほっと安心 ふっと嬉しい 個別的日常生活支援ガイド

所属 組

氏名

E男

策定責任者

策定年月日 平成 19 年 4 月 1 日

1. <起床>

ADLレベル	環境設定	支援の方法	心づかいの内容
<ul style="list-style-type: none"> 自分で起きてくる 	<ul style="list-style-type: none"> 専用テレビ、ビデオ、CD ラジカセが用意されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「おはよう」のあいさつを優しくする。 好きな洋服を着てもらおう。 	<ul style="list-style-type: none"> 起きてきてすぐトイレに行く事が多いが、早く気づく。声掛けを必ずする。(勤務者、外来者、今日の予定など) 起床時は裸のときが多く、話し出すといつまでも話しているので、見たところも良くないことも伝えて、自分で選んでもらって洋服を着てもらおう。

2. <着脱>

ADLレベル	環境設定	支援の方法	心づかいの内容
<ul style="list-style-type: none"> 自分で衣類を選んで着ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 好むような衣類を入れておく準備しておく。 	<ul style="list-style-type: none"> 好きな洋服を選んできてもらうように声掛けをする。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分で着たい服を選んでもらい、好きなものを着てもらえるような声掛けをする。 服の前後が違ってしまうように着ている事がある。「ちょっと違うかもしれないよ」と言ってみて、直すこともあるが、「これでいいよ」と言うときはそのまま着てもらおう。

3. <洗面>

ADLレベル	環境設定	支援の方法	心づかいの内容
<ul style="list-style-type: none"> 自分で顔を洗うこともできるが、支援が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> タオルは用意 冬期はお湯を出す。 	<ul style="list-style-type: none"> 濡れたタオルできれいに拭く。 	<ul style="list-style-type: none"> きれいに拭けたことを誉める。 遅くおきたときなど、忘れがちなので、優しく声をかけ、洗顔を忘れないようにする。

4. <食事>

ADLレベル	環境設定	支援の方法	心づかいの内容
<ul style="list-style-type: none"> 箸を使用 	<ul style="list-style-type: none"> 食事量...中 コップ、箸使用 朝：生卵 ふりかけ 食膳にベイスンを服用 朝・夕食 30 分前にインシュリンを打つ 	<ul style="list-style-type: none"> 食事に入る前の用意をする。 本人にどれを食べるか選んでもらう。 本人と嫌いなものはないか話をする。 嫌いだと分かったものは、残してよいことを伝える。 メインの副食が嫌いなものだったときには、本人のソーセージまたは、ご飯を増やすなどの配慮をする。 食べ終わったら長い間ほっておかない。 野菜には何をかけるのか確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> 嫌いなものは何か必ず把握しておく。(コンニャク、人参、かまぼこ、ちくわ、魚は特に嫌い) 嫌いなものを残しても他に食べるものがあることを伝え、本人が残しても大丈夫だと思える声掛けをする。 居室に食事を運ぶときには、全員が食堂に入る前に運ぶ。 ほかに食べたいものがないか、常に本人と話をしていくことも必要。 本人から要求があった時には、できる限り待たせない。 嫌いなものを食べることがあることを忘れない。 食事量の大が食べたくなる時は、何か伝わらない思いがあるときなので食べたくなってしまいう気持ちを言語化し励まし支援する。

5. <歯磨き>

ADLレベル	環境設定	支援の方法	心づかいの内容
・全面介助		<ul style="list-style-type: none"> ・「歯磨きするよ」と声をかけ、横になってもらう。 ・「自分でする」と言う時には、まず本人にやってもらい、仕上げを職員が行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分から歯磨きに来たときには褒める。ゆっくり磨いてもらうような声掛けをしていく。 ・介助するときは、優しく頬に触れ、口を開けてもらう。 ・歯磨き後は「きれいに磨けたね、えらいね」等声をかける。

6.<排泄>

ADLレベル	環境設定	支援の方法	心づかいの内容
<ul style="list-style-type: none"> ・一部介助 ・裸になってから排泄する事がある 	<ul style="list-style-type: none"> ・和式、洋式どちらでも使用できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・大便の後、お尻を拭く支援をする。 ・居室や中庭で排泄するときには、職員のほうから本人をトイレに誘うことも必要。 ・一度嫌がられた時は時間をおいて再度お願いしてみる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・お風呂や部屋・中庭等で排泄するときは、どんな状況でしたのか、その気持ちを考える。 ・本人をトイレに誘うときには、トイレの誘いだけでなく他に一緒に遊ぶなどの係わりを持ってから誘うようにする。 ・自分からトイレに来たときにはたくさん褒める。

7.<入浴>

ADLレベル	環境設定	支援の方法	心づかいの内容
・一部介助		<ul style="list-style-type: none"> ・お風呂の中で寝てしまう事があるため気をつけ、自分であがれるような声掛けをする。 ・洗体は職員が本人に聞きながら洗う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一番にお風呂に誘うが、自分の好きなように入ってもらう。 ・1人に入って寝てしまう事が多いので、事故の内容に注意してみていく。 ・できるだけ好きなように入ってもらっているが、男子の入浴が終わりそうになったり、おやつ時間が近づく頃には、出てもらうように声をかける。 ・ドライヤーを自分でするときにはいろいろと言わない。

8.<就寝・夜間>

ADLレベル	環境設定	支援の方法	心づかいの内容
		<ul style="list-style-type: none"> ・居室に布団を敷き、自由に過ごしてもらう。 ・職員が来るのを待っているため、必ず本人とかわかる時間を持つ。 ・本人のところから離れるときには、かならず「してきてくけどいい？」と本人に聞いてからにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・服装は、裸、肌着、パジャマ・ボロシャツ等異なる事があるが、本人の好きなようにしてもらう。 ・帰園後、その帰省によって興奮して眠れない事がある。そんな時は一緒にいたり、話してくるときはお話する。 ・他のメンバーの布団にもぐりこみ寝てしまい、失敗することがあるので自分の布団に誘導しおっこシートをする。

9.<爪切り>

ADLレベル	環境設定	支援の方法	心づかいの内容
・全面介助		<ul style="list-style-type: none"> ・爪を切ることを伝える。 ・自分から手を出してくれる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・嫌なときには「いや」と言うので無理に切らない。 ・切らせてくれたときには誉める。 ・自分が気になり、「もっと切って、ここも切って」と言ってくるときには、本人の言う通りに切っていく。

10.<耳そうじ>

ADLレベル	環境設定	支援の方法	心づかいの内容
・全面介助		<ul style="list-style-type: none"> ・職員のひざの上へ頭を置いてもらい、実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・嫌がるときには無理にやらない。

			・やらせてくれたときには誉める。
--	--	--	------------------

11. <ひげ剃り>

ADL レベル	環境設定	支援の方法	心づかいの内容
・全面介助		・特に剃る必要は無い。髭はこくない。	

12. <移動>

ADL レベル	環境設定	支援の方法	心づかいの内容
室内 ・自分で自由に移動することができる。	屋内 ・靴下は履くときもある。	・特に支援を必要としない。 ・本人に確認して靴下は履いてもらう。	・淋しいとき（他のメンバーさんが帰省しているのに自分は帰省できないときなど）にはおんぶの要求がある。快く受け入れる。
	屋外 ・室内同様	・室内同様	・室内同様

13. <健康>

一般的な健康状態（体力、疲れ易さ、風邪のひき易さ等）	てんかんの状況と対応 （発作の有無・服薬の内容・原因と思われること・発作の状況や対応）
・咳が出たり、鼻水を出すことはあっても熱発するほどになることはほとんど無い。年間を通して健康。 ・糖尿病なので、疲れやすいと感じる。体をよく動かした後は昼寝をすることがある。	発作 無
風邪・発熱時の状況と対応 （症状のおよその傾向と対応・静養の仕方・食事への配慮・検温の仕方等）	内科的疾患（腹痛・下痢・便秘等の状況と対応）
係わりについて ・病気に対して非常に不安感を持っている。体の状態や検査の結果を分かりやすく説明（糖尿病の場合は「おしっこの中にたくさん砂糖がでているんだよ」等）していく。糖尿病、肝臓病のため、月に一度の血液検査を行っている。採血の日も自分で決めるなどして、本人と折り合いをつけながら検査に挑む。また、血液検査後は、注射ごっこをしながら本人のいやだった気持ちを癒す。 検温の仕方 ・病気＝注射ということが常に頭にあるため、検温をととても嫌がる。突然検温するのではなく、どうして検温しなければいけないのかを本人に話し、かかわる時間をもちながら検温する。	腹痛 ・特になし 下痢 ・普段はないが、怒られたあと、心配事があると下痢しやすい。 ・下痢が続くときには、本人と相談し、薬を服用してもいいようであれば、下痢止めを服用してもらう。 便秘 ・なりにくい。
皮膚科的疾患（水虫・アトピー性皮膚炎・脂漏性湿疹等の状況と対応）	その他の疾患（耳鼻咽喉科・眼科等の状況と対応について）
・心配事があったり、ネガティブな思いからダメな自分を洗い流す思いから手洗いが強迫的になり爪にせっけんをつけてしまい化膿することがある。	・糖尿病、肝臓機能障害を持っているため、定期的に血液検査、検尿を実施し、医師の指示をあおぐ。 ・本人も自分の症状を気にかけているので、その都度検査結果を話す。
視力・聴力	内服薬の服用方法

・特に問題なし。	服薬について 錠剤、粉薬共に服薬可能。状態によって錠剤を嫌がることもある。そんなときはすりつぶして粉薬と一緒に服用してもらう。 納得していないと薬を吐き出してしまう事がある。無理に服用してもらわず、遊びなどの係わりを持ちながら服用してもらう。
外用薬等の使用方法	本人の異常（発熱・頭痛・腹痛・歯痛）の訴え
外傷 ・絆創膏、包帯は気になり取ってしまうことが多い。こまめに消毒しておく。	・自分で訴えてくれる。 ・いつもと様子が違うときにはこちらから話をする。

14. 通院の状況

通院の状況	支援の方法	心づかいの内容
・職員がついて通院する。 ・一対一でついたほうがよい。	・通院することを事前に本人に話をする。 ・通院しなくても良いような採血等は、本人に通院するのか、学園であるのかを確認してから決める。 ・通院は誰と行きたいのか確認する。	・病院が嫌いなので、できる限り待ち時間がないように通院する。 ・通院して何をするのか、具体的に話しておく。 ・通院、病院が大嫌いな事を知っていることを話すようにする。 ・病院から戻ってからは、たくさん頑張った事を誉める。母からも誉めてもらうと、本人は嬉しい。

15. 身の回り品等の整理整頓

通院の状況	支援の方法	心づかいの内容
・自分ではできない。 ・職員が整理整頓する。	・室、衣類等、本人の物を片付ける時には、本人にその事を話してから片付けるようにする。 ・本人から「片付けてください」と言うこともあるため、その時にはすぐに片付けるようにする。	・居室には、何か少し広がっている位が本人は落ち着く様子。 ・外出して買ってきた食事などは、食べ終わったらすぐに片付けるようにする。 ・ダンスは、本人の大切なものを自分で片付けているため、本人の思いのままにしておく。

16. 金銭管理と使用

通院の状況	支援の方法	心づかいの内容
・担当が全て管理 ・1ヶ月に8千円のおこづかい。	・何を買いたいのか本人に聞く。 ・おこづかいの範囲で、買えるもの、買えないものをはっきりさせておく。 ・次はいつ買いに行くのかを、早めに伝えておく。	・買い物へ行き、希望するものがないということがないよう、事前に店へ下見をしに行っておく。 ・たくさん買ってしまった時には、欲しいものが言えなくなるときがあるため、本人の様子を見ながら、どういう思いでいるのか想像する。 ・人形を買う時は、母に怒られると心配しているので母に了解を得る。

17. 電話

通院の状況	支援の方法	心づかいの内容
・本人が電話に出て話をする。	・本人から希望があった時にかける。	・本人がかけたくないというときにはかけない。

<ul style="list-style-type: none"> ・電話は職員がかける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・他のメンバーが帰省している時等には、こちらからも「TELしてみる？」と確認する。 ・本人の思いや、伝えたいことを職員が代弁して話す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・母と話している内容を確認する。 ・TELが終わった後、再度母が話してくれたことを本人に話す。
---	--	--

確 認		
園 長	主 任	保 護 者
月 日	月 日	月 日